

1. 件 名：東北電力株式会社女川原子力発電所の事業者防災訓練に関する  
意見交換について

2. 日 時：令和5年3月29日 10:00～12:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 緊急事案対策室

川崎企画調整官、澤村防災専門官、川本専門職、本間専門職、宮田専門職  
東北電力株式会社

本店 原子力部 課長（原子力防災担当）他8名

関西電力株式会社

原子力事業本部 安全・防災グループ マネジャー 他1名

北陸電力株式会社

原子力本部 原子力部 原子力防災チーム 統括（課長） 他1名

5. 要 旨

東北電力株式会社から、令和5年3月7日に実施した同社女川発電所の  
原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析  
を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや社  
内・社外評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から面談前に現地防災専門官への報告状況の確認したと  
ころ、報告できていないと謝罪があったため、今後は現地の防災専門官  
とよくコミュニケーションを図り、報告の後、面談に臨むよう伝えた。

また、訓練で確認された問題点・課題に対する原因分析が全体的に分  
析不足であること、原因に対して対策が紐付いていないこと指摘し、よ  
く見直して次回説明するよう伝えた。

さらに、マニュアルに定める代替手段による通報文の送信ができなか  
ったことについて、臨機な対応ができておらず、訓練が形骸化している  
のではないかと指摘し、対応能力の向上を求めた。

東北電力株式会社から、本日の面談のコメントをよく見直し次回面談  
資料に反映する旨回答があった。

原子力規制庁より、改善が必要となる事項については、具体的な対策  
を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施  
結果報告書にまとめるように伝えた。

東北電力株式会社から、防災訓練実施結果報告書としてまとめ、後日  
説明するとの回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 女川原子力発電所防災訓練（3週間後）に係る説明について  
（東北電力株式会社）